

はじめに

この度は弊社「アンサーバックユニット【ホーンバックモデル】」をご購入頂き誠にありがとうございます。  
この取付説明書は本商品を取付け、ご使用頂く為に必要内容が説明されています。取付の際は本書を良くお読みになってから取付作業をしてください。また、この説明書は大切にお手元に保管ください。

## 取付けの前に必ずお読みください。

- 危険** 守らないと身体や財産に重大な被害が発生する可能性が高いもの  
**警告** 守らないと人が死亡または、重症を負う可能性があるもの  
**注意** 守らないと人が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害が想定される内容

### ★免責事項★

装着の着手を以って、以下についてご了解いただいたものとさせていただきます。

1. 本装置の装着は全て自己責任のもとで実施願います。
2. 本装置装着による結果、または装着過程において、どのような事態に陥っても製作者に責は無いものとします。
3. 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障・破損等の責任は一切負いません。

## 取付け作業前の確認

商品をお取付頂く前に本体・付属品等に不足が無いか、またお届けの商品に破損・断線が無い事をご確認ください。不足や破損があった場合はお取付せずに弊社へご連絡くださいます様をお願いします。

### 商品内容

本体	1
接続配線	1
取付け説明書（本書）	1

## 動作仕様

本装置の動作仕様は、下記のとおりとなります。

### ★アンサーバックホーン機能（出荷時設定）

- ◎ACCオフ後のドアロックで1回、アンロックで2回ホーンを短く鳴動させます。
  - ◎ホーン鳴動回数、鳴動時間、鳴動間隔は5種類のプリセットから設定変更できます。
- また、プリセット内容の各項目もそれぞれ変更可能ですのでお好みの設定をプリセットして記憶させる事が可能です。

### ★LEDスキャナコントロール機能

- ◎ACCオフ後のドアロック検出で汎用LEDスキャナを起動し、アンロックで消灯します。

### ★サンキューホーン機能

- ◎ACCオン時に設定スイッチを短押しするとサンキューホーンとしてホーンを2回点滅させます。
- ※鳴動間隔は変更可能です。詳細は設定変更手順をご確認ください。

### ★LEDスキャナコントロール機能

- ◎ACCオフ後のドアロック検出で汎用LEDスキャナを起動し、アンロックで消灯します。

### ★サイレントモード（設定有効時）※出荷状態では無効となっています。

- ◎夜間などサイレン音を鳴らしたくない場合など特定の条件時にサイレンを鳴動させない機能です。
- ※サイレントモードの設定方法は”設定変更手順”をご覧ください。

### 重要

※社外品のホーンをお取付の場合、ホーンユニットの特性によりキレイに鳴動しない場合があります。その場合は設定変更で鳴動間隔や鳴動時間を変更してお試しください。

※接続可能なLEDスキャナは、ポディーアース接続でスキャナが起動するタイプとなります。

※ターボタイマー装着車両へ装着する場合はオプションリレー（SBR-01）を装着することでターボタイマー作動時でも上記機能が作動可能です。

※本装置は12V車専用です。12V車両以外には取付けできません。

## 重要



本機を取付ける際は必ず本体配線（白）のヒューズを取り外して作業を開始してください。  
 全ての結線、本体接続が終了してからヒューズを差し込んで通電してください。  
 ヒューズを付けたまま作業した場合、本体が故障する場合があります。  
 必ず、本体を取付け、取り外す際はヒューズを抜いてから作業をしてください。

## 取付け準備

### 危険

本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、十分に気をつけて作業を行ってください。

### 警告

短絡（ショート）を発生させると最悪の場合、各種ECU（車に装着されているコンピュータ）が破損し走行不能に陥ることも予想されます。充分予備知識を蓄えた上で、取付け作業にとりかかるところをお勧めします。

### 注意

取付けの前に必ずエンジンを停止させ、バッテリーのマイナス端子を外してから作業を開始してください（ハイブリッド車は除く）バッテリーのマイナス端子を外すと、時計やラジオ等のメモリー内容が消える場合がありますので、メモリー内容をメモ等に残しておき、取付完了後に再度入力してください。

また、バッテリーのマイナス端子を外すと、パワーウィンドの初期化が必要な場合があります。パワーウィンドの初期化手順は車両付属の取扱説明書を参照頂くか、ディーラー等に確認してください。

## 配線の車体側接続先の確認

### 車体への取付けにあたり、事前に次の準備が必要です。

ボディーアース、常時12V電源、ACC（またはそれと同等の配線）、ホーン電源線、ドアロックアクチュエータ電源線、です。  
ボディーアースは近隣の適切なネジへ、バッテリー電源、ACC等はヒューズBOXやオーディオ裏から取出し可能です。  
ドアロックアクチュエータ電源線は、ドアロック/アンロック時に短時間だけそれぞれ+12Vが出る線です。  
通常はドア毎にドアロックアクチュエータが付いていますので、運転席側のドアロックアクチュエータ電源線を  
確認するのが良いと思います。  
取付け車種の配線図があれば容易に信号線の場所は特定できますが（購入されたディーラからコピーを入手する  
等）、無い場合、テスターを使って探すことになります。  
ドアロック・アンロックを繰り返しながらドアロックアクチュエータ電源線を探してください  
（運転席の足もと付近にコネクタがある場合が多いです）。

#### ★ワンポイントアドバイス

常時12V電源、ACC電源、ドアロックアクチュエータ電源線については当方HPで公開中の  
”キーレス連動ドアミラー格納装置”の車種別専用資料が参考となりますので是非ご覧ください。  
キーレス連動ドアミラー格納装置車種別資料公開アドレス <http://www.p-c-p.co.jp/datalib/tdmr-dwn.htm>

## 各種配線の接続

**注意：車側の各配線は切断しません。 本機配線と三又となるように接続します。**

**★★★必ず本体配線（白）のヒューズを外してから作業を開始してください。★★★**

1. ドアロック時に+12Vとなるドアロックアクチュエータ電源線を取付け車種の配線図または、テスターで確認します。  
※ドアロック時に短い時間だけ+12Vとなります。多くの場合は運転席足元右側付近にドアへ繋がっているコネクタが配置  
されています。その付近のコネクタをドアロック、アンロックを繰り返しながらテスターで確認してください。
2. ドアアンロック時に+12Vとなるドアロックアクチュエータ電源線を取付け車種の配線図または、テスターで確認します。  
※ドアアンロック時に短い時間だけ+12Vとなります。 たいていは運転席足元右側付近にドアへ繋がっているコネクタが配  
置されています。その付近のコネクタをドアロック、アンロックを繰り返しながらテスターで確認してください。
3. ドアロックアクチュエータ電源線を、本機の対応する線と接続してください。
4. ホーンボタン押下時に12Vとなる配線に本機の対応する配線を接続してください。
5. LEDスキャナを接続する場合はLEDスキャナのコントロール配線を本器の対応する線と接続してください  
※ボディーアース接続でスキャナが起動する配線、もしくはスキャナのボディーアース線を接続します。
6. 本器の動作キャンセル条件信号線を接続します。  
本線に12V入力で動作キャンセルとなりますので、動作キャンセルとさせたいタイミングで12Vとなる信号線に接続して  
ください（例えばACC配線など）。  
※ターボタイマー装着車両の場合、ターボタイマー作動時はACCがオン状況となるのでアンサーバックがキャンセルされてし  
まいます。この場合、オプションリレー（SBR-01）を装着することでACCオン状態でもサイドブレーキを有効とする  
ことでアンサーバック機能が作動できます。  
SBR-01の結線方法については 別紙の配線説明図 を参照ください。
7. 本器の常時12V電源、ボディーアースの各信号線を接続してください（別紙の配線説明図を参照ください）。
8. 接続が完了したら動作確認を実施してください。  
正常動作が確認できましたら、本体を適当な場所（なるべく金属部分から離れている場所）に固定してください。  
以上で終了です！ お疲れ様でした！

## 取付け、ご使用でご不明な点があればお気軽に当社サポートまでお問合せください。

#### 保証規定

◇この製品保証規定は、製品保証書に明記した期間内において取扱い説明書に従った正常な使用をしていたにも関わらず故障が発生した場合に無償修理  
をお約束するものです。

◇保障期間内に故障した場合、製品保証書のコピーをご提示の上お買い上げの販売店にご相談ください。

無償修理と判断される場合、故障商品を総販売元までお送り頂き修理完了品または代替え品をお客様に返送する事とします。送料はそれぞれ送付元負担  
とさせていただきますので予めご了承ください。

◆保証期間内であっても、下記の項目に該当する場合は無償修理の適用外とさせていただきます。ただし無償修理の適用外であっても有料での修理または代  
替え品への交換・サービスはご利用いただけます。

- ①使用上の誤り、又は分解、改造、不当な修理による故障および損傷
- ②お買い上げ後、落下や水滴浸入による商品の故障及び破損。
- ④組み込み回路や業務用として使用した場合
- ⑤バッテリー以外の電源に接続して使用した場合
- ⑥交通事故、いたずらによる故障及び破損
- ⑦火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、塩害、紛争等の外部要因によって生じた故障および損傷。
- ⑧保証書の提示の無い場合
- ⑨ヒューズは消耗品の為、保障対象外とさせていただきます。
- ⑩出張修理は致しませんので、予めご了承ください。

◇万一、本製品の仕様により生じた障害、逸失利益、脱着工費または第三者からの如何なる請求について一切責任を負えませんので予めご了承ください。

◇他社製品との併用により生じた、故障、接続機器の破損、人的被害の責任は一切の責任を負えません。予めご了承ください。

◇本製品を他人に譲る場合や、装着車両を譲った場合、必ず本取扱い説明書をお渡しください。

◇保証書は再発行致しませんので、保証適用申請の際は必ず保証書のコピーを取り、大切に保管してください。

◇本保証書は日本国内のみ有効です。

保証書	
商品名	アンサーバックユニット【ホーンバックモデル】ト TNANS-40
保証期間	購入日より6ヶ月間
ご購入日	
氏名	
住所	
電話番号	
販売店	パーソナルCARパーツ株式会社

# 設定変更手順

サイレン鳴動回数、鳴動時間、鳴動間隔は予めプリセットされている内容に簡単に変更可能です。  
また、プリセット内容の各項目もそれぞれ変更可能です。

## ●各鳴動プリセット切替手順

1. ACCをオフにします。
2. 設定スイッチを短押しします。
3. 現在設定されているプリセット番号を表す回数を短くサイレンを鳴動させます。  
※プリセット1の時は1回、プリセット2の時は2回、プリセット5の時は5回鳴動させます。プリセット5の次は1となります。  
※各プリセット内容は表1をご確認ください。

表1

プリセット番号	1	2	3	4	5
ロック時ホーン鳴動回数	1	2	3	1	0
アンロック時ホーン鳴動回数	2	3	2	0	2
ホーン鳴動時間	3	2	2	3	3
ホーン鳴動間隔	5	4	4	5	5

あらかじめ設定されているプリセット内容の各項目についてそれぞれお好みに応じて設定変更可能です。

## ●各鳴動プリセット内容項目設定変更手順

1. プリセット切替手順と同様に設定スイッチを短押しして変更するプリセット番号を選択します。
2. サイレンが短く2回、長く1回鳴動するまで、設定スイッチを長押しします。(設定変更モードへ移行)
3. 設定スイッチを短く押す度に設定変更項目番号が切り替わり、項目番号に応じた回数のサイレンが短く鳴動します。
4. 変更したい項目番号が鳴動したらACCを約1秒間オンにします。(変更項目の決定)
5. 設定スイッチを短く押すたびに設定値が切り替わり、設定値に応じたサイレンが鳴動します。
6. 希望の設定が鳴動したら、ACCを約1秒間オンにします。(変更内容の確定)
7. 続けて別の項目を変更する場合は、3～6を繰り返します。
8. 全ての設定が終了したら、ホーンが長く1回、短く2回鳴動するまで長押しします。  
(設定変更モードの終了)

★設定変更をキャンセルする場合は、設定スイッチを長押しします。(ホーンが長く1回、短く2回鳴動します。)

表2

変更項目 (A)	項目番号	設定値 (B)	設定時サイレン確認鳴動
ロック時ホーン鳴動回数	1	0～9回	設定に応じた回数を鳴動
アンロック時ホーン鳴動回数	2	0～9回	設定に応じた回数を鳴動
ホーン鳴動時間	3	1～10段階 短い → 長い	設定に応じたサイレンを鳴動
ホーン鳴動間隔	4	1～10段階 短い → 長い	2回鳴動し、設定に応じた鳴動間隔に変化

## ★プリセット内容変更例

プリセット番号3の「ホーン鳴動間隔」を変更する例

- ①ACCをオフにします。  
設定スイッチを短押しして、ホーンが短く3回鳴動するまで設定スイッチを短押ししてください。  
※行き過ぎた場合は、再度3回鳴動するまで短押ししてください。
- ②設定スイッチを長押しします。(ホーンが短く2回、長く1回鳴動するまで)
- ③設定スイッチを4回短押しします。(ホーンが短く4回鳴動します)
- ④ACCを1秒間オンにして、その後ACCをオフにします。
- ⑤設定スイッチを短押しするとホーン2回パツ、パツと鳴動し、設定スイッチを押す度に音の間隔が伸びて行きます。  
※10段階で音の間隔が広がって行きますので、お好みの間隔をお選びください。  
※設定スイッチを短押しし続けると10段階で音の間隔が広がっていきます。10段階目の次は1段階目になります。
- ⑥ACCを1秒間オンにして、その後ACCをオフにします。
- ⑦設定スイッチを長押しします。(ホーンが長く1回、短く2回鳴動するまで)  
設定変更終了です。

## ●サイレントモード設定方法

1. ACCをオンにします。
2. 設定スイッチを押したままACCをオフにして、3秒以上設定スイッチを長押しします。
3. 設定がオンになると、ホーンが短く1回鳴動します。  
※設定をオフにする場合も1～3を行ってください。

### サイレントモード中の消音条件

1. ロックを2回連続で操作した場合、2回目以降のホーン鳴動を消音します。
2. ロック後、3秒以内にアンロック操作をした場合アンロック時のホーン音を消音します。
3. アンロックを2回連続操作した場合、2回目以降のホーン音を消音します。
4. アンロック後、3秒以内にロック操作をした場合ロック時のホーン音を消音します。

### サイレントモード使用例

- 夜間外出時にホーンの鳴動を消音したい場合  
⇒車両施錠状態>ロック >アンロック
- 消音した状態でロックしたい場合  
⇒エンジン停止>アンロック>外に出る>アンロック>3秒以内にロック

●サンキューホーンの鳴動時間、鳴動間隔はプリセット番号1のホーン鳴動時間、ホーン鳴動間隔が適用となります。サンキューホーンの鳴動時間・鳴動間隔を変更する場合は表2を参考にプリセット番号1のホーン鳴動時間、ホーン鳴動間隔を変更してください。

※サンキューホーンの鳴動時間・鳴動間隔とアンサーバックホーンの鳴動時間・鳴動間隔を別々に設定したい場合は、アンサーバックのプリセットをプリセット番号1以外を選択するか、プリセット番号1以外のプリセットのホーン鳴動時間・鳴動間隔を変更した後に変更したプリセット番号を選択してください。

## ●リセット方法

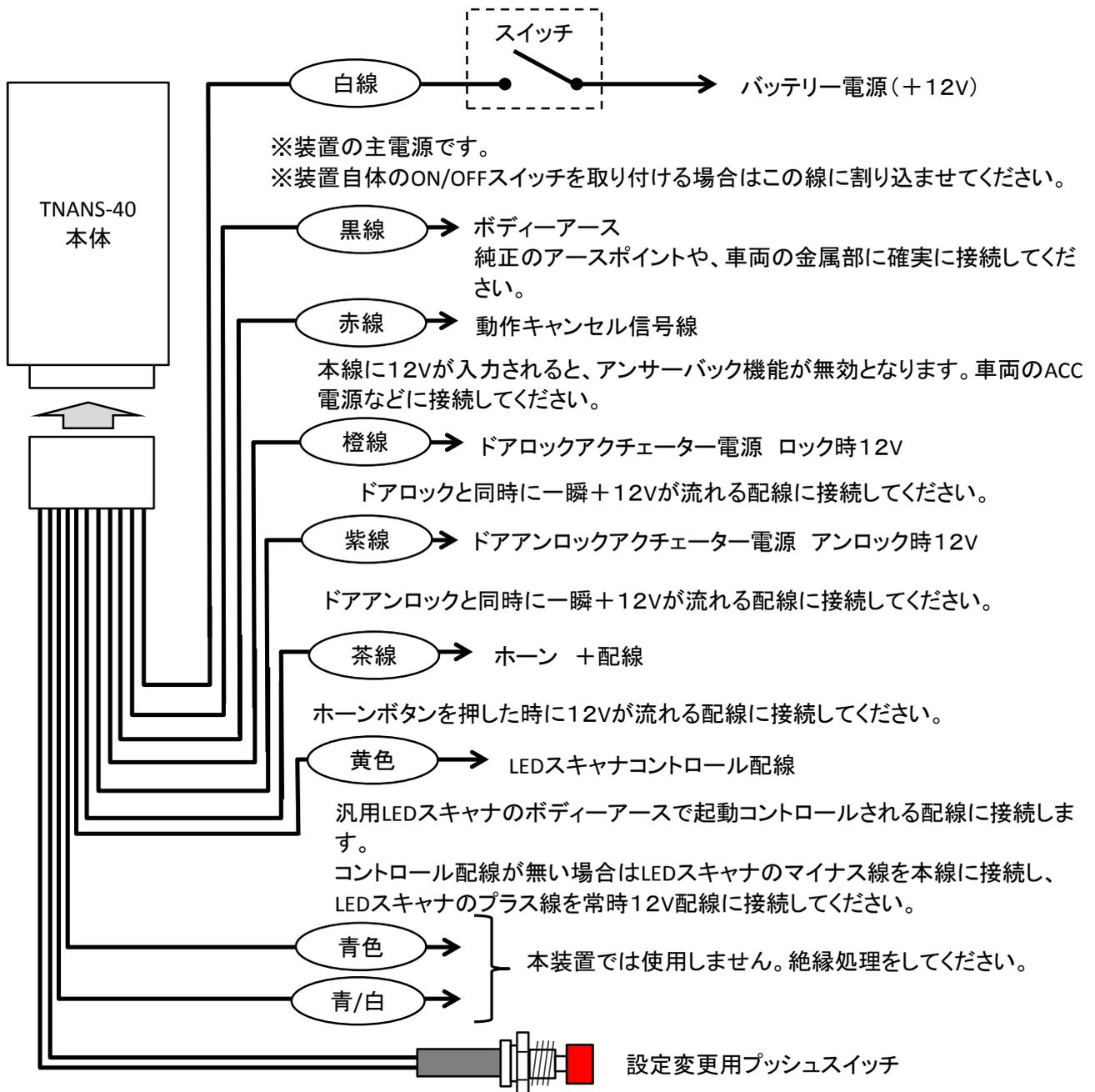
設定値を出荷状態にリセットする事が可能です。リセットする場合は以下の手順で本体をリセットしてください。

1. ACCをオンにします。
2. 10秒以上、設定スイッチを長押しします。
3. リセットされると、長く1回サイレンが鳴動します。

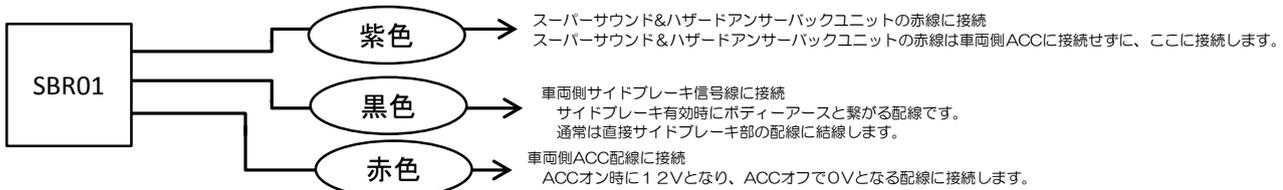
# 配線説明図

## 重要

結線作業は「配線の車体側接続先の確認」「各種配線の接続」を良くご確認になり、必ずテスターや検電ペンなどで結線先の電圧や信号の確認を行った上で行ってください。



## オプションリレー (SBR-O 1) 使用時の結線先



## 重要



本機を取付ける際は必ず本体配線（白）のヒューズを取り外して作業を開始してください。

全ての結線、本体接続が終了してからヒューズを差し込んで通電してください。  
ヒューズを付けたまま作業した場合、本体が故障する場合があります。

必ず、本体を取付け、取り外す際はヒューズを抜いてから作業をしてください。

